

Keep On Researching

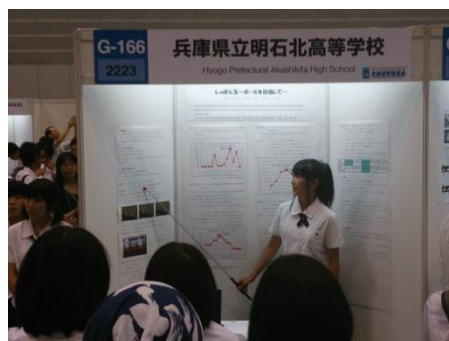
2013 年 9 月 3 日
発行
明石北高等学校
研究推進部

まだまだ暑い熱い中、2 学期がスタートしました。あともう少し、体調に気をつけてのりきりしましょう！さて、この夏休みたくさんさんの SSH 事業がありました。いろいろなところで頑張る明石北校生 & 事業を数回に分けて紹介します。

①SSH 生徒研究発表会 平成 25 年 8 月 7 日（水）～8 日（木）、パシフィコ横浜

参加生徒は 3 年 9 組の 6 名。指定 4 年目の本校はポスター発表を行った。本校の発表テーマは「シャボン玉 ～ボールを目指して～」で、身近な素材を科学的に取り扱っており、発表ブースには多くの参加者が集まり、興味を示して熱心に発表を聞いてくれた。特に参加した他校生徒には興味を持ってもらうことができた。また、アピールタイムという、審査対象ではないが口頭で 5 分間の研究内容紹介も行った。本校は直前まで事前準備に多くの時間を費やしたが、ポスター発表賞、生徒投票賞を受賞できなかった。受賞校の研究には部活動として行っているものが多く、科学的に見ても実験、考察ともにハイレベルなものであった。（木村圭介）

（生徒の感想 抜粋）発表のとき、目をそらさずじっと見てくださる方や、うなずきながら聞いてくださる方、しつもんしてくださる方や実演に感動してくれる方などがたくさんいて、多くの方に興味を持ち、笑顔になっていただけたので、この研究の目的は少しは達成できたかと思います。ですが他校の発表を聞くと、私たちの研究はまだまだだと感じたので、もっと正確で、もっと納得できる研究をこれから大学などでやりたいと思います。



②めいほく親子サイエンス教室 平成 25 年 8 月 24 日（土） 於第 2 生物教室・第 1 生物教室



↑ 冷え冷えパック作成中

雨の中、30 組の明石市内の小 3・4 年生の親子が来校。1 時間目は「 -196°C の世界」（化学部生徒）2・3 時間目は「冷え冷えパックをつくろう」（松尾先生）、「レーウエンフックの顕微鏡」（北村先生）の実験をしました。1 年生の自然科学の生徒 6 名もお手伝いをしてくれました。

液体窒素は子供たちに大受け！！クリクリの目をキラキラさせて一所懸命演示実験を見ていました。最後は瞬間冷凍のマシュマロを口にし、『こっちの方がおいしい～♡』とかわいい声で答えてくれました。2・3 時間目は子供たちよりも保護者の方のほうが、特にお父さんたちが興味津々、いくつになっても実験って楽しいですね。（萩原 美登里）